

安心して暮らすための知恵と技術を育む

いすみ市地域おこし協力隊の加賀利です。

近年、地球温暖化などの影響により、今までに経験したことの無いような甚大な被害をもたらす自然災害が増加しています。それに伴い、生活に必要な食べ物や水、電気、ガス、トイレ、ゴミ処理などのライフラインが途切れることが頻発し、日常生活に支障が出る機会も増えています。

地球環境が大きく変化している中で、現代の暮らしは「お金」を介して「外部（ライフライン）」に依存しすぎており、「お金」もしくは「外部」のどちらか一方が途切れてしまうと、生活していくことが難しくなります。

こうした環境の変化に適応するために、『必要なものを外部に依存する暮らし』から、『必要なものは半自給する暮らし』へ移行することが大切だと考えています。

そのために、生ゴミや排泄物の堆肥化やソーラー発電機の自作、雨水の活用など、半自給に必要な知恵や技術を育む活動を中心に行っています。生活に必要なもののすべてを自給することは難しくても、一部を自給することは、そこまで難しくはありません。

私もまだ学んでいる途中ですので、日々の学習やワークショップなどの実践を繰り返し、地域おこし協力隊の任期終了後には、こうした知恵や技術、設備の販売・施工などを行っていきけるよう頑張りたいと思います。

今後開催するイベントに関しては、いすみ市地域おこし協力隊 Facebook ページやチラシ（市役所に配架予定）等で告知予定です。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



生ゴミコンポスト



コンポストトイレ



DIY ソーラー発電機



雨水活用タンク

地域おこし協力隊 新入隊員紹介

埼玉県熊谷市から来ました松葉孝浩です。いすみ市に初めて訪れた時に素晴らしい自然環境と、生活文化の多様性にとても魅力を感じ、是非ともこの地域で活動したいと思いました。

以前は、北海道で牧場の経営や加工品製造、飲食店事業に携わっていたので、この経験を活かして地域に貢献できればと思います。

「風土がFoodを造る」という考えを軸に、市の文化を大切に更なる発展にお力添えできるように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします！！



地域おこし協力隊 松葉孝浩さん

地域おこし協力隊とは、

条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から地域の活性化に意欲のある人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、地域課題の克服と共に本人の定住化を図ろうというものです。

問合せ先 いすみ市地域おこし協力隊 大原庁舎（2階） 企画政策課内 ☎62-1382